

## 文政6年忍城図

行田市郷土博物館所有

城郭は、堀や土塁で区切られた曲輪くわという区画を配置することによって構成されます。曲輪には本丸や二の丸といった名称がつけられ、その中に櫓や御殿、土蔵などの建造物が築かれます。さらに、周囲の寺社や町屋、街道、山や川までも含めて城郭の一部とすることもあります。このようにさまざまな形を持つ城郭を絵と文字によって表現した絵図が城絵図です。

城絵図は制作の目的、年代、制作者などによってさまざまなタイプのものがあります。これらを比較検討することが、城郭の変遷の歴史を知る重要な手掛りとなります。現存する忍城図も描かれている城の時代から分類すると、①天正年間末から寛永16年（1639）

までの近世初期の忍城を描いた城絵図、②阿部家による元禄大改修以前の城絵図、③元禄大改修後の城絵図、④松平家入封から幕末までの城絵図、⑤その他の忍城図に分けられます。今回紹介する城



文政6年忍城図

また、桑名から移してきた東照宮の社殿は、文政8年に城西方の下荒井にあった作事小屋と武家屋敷に造営されました。この城絵図では、造営前の作事小屋が描かれています。このようにこの城絵図には松平家が引越してきてから城の一部が改修されるまでの様子が描かれており、阿部家の忍城から松平家の忍城へと変わっていく過渡期の城絵図ともいえます。（郷土博物館 鈴木紀三雄）

## つながる ひろがる みんなのチカラ

～市民公益活動団体紹介～⑱

## 特定非営利活動法人 サイシップ

知的・身体・精神に障がいのある方が、住み慣れた地域で日常生活や社会生活を営めるよう、自立のためのさまざまな支援を行っているのが「特定非営利活動法人サイシップ」です。

同法人は平成15年に設立され、現在、12人のスタッフで活動しています。自立支援施設「夢知無恥」の運営を活動の中心としており、同施設では、障がいのある方へ軽作業などの就労機会を提供したり、一般企業への就職活動を支援したりしています。スタッフの皆さんは、利用者の生活リズムに合わせながら、市内外の事業者から依頼された靴下やカットクロスなどの袋詰めといった内職作業や、園芸品の販売、農作業など利用者が行う作業の補助を行っています。また、就職活動の支援では、コミュニケーション能力向上や社会マナーの習得などのサポートを行っており、利用者の就職先も徐々に増加しているそうです。理事長の菱澤敏健さんは「ここを卒業した利用者の皆さんが就職先で頼りにされ、元気に働いていると聞くと本当にうれしいですね」と笑顔で話します。

今後は、農作業にも力を入れ、トマトなどの農産物に付加価値をつけて販売することに取り組み、利用者のさらなる意欲向上と就労機会の拡大を目指していくとのこと。みんなの夢を育て、実を結ばせるための「サイシップ」の活動に大きな期待が寄せられています。

【代表理事】菱澤 敏健 【電話番号】557-5888



施設内での軽作業の様子

### 今月の表紙

5月4日、さきたま古墳公園で第33回さきたま火祭りが開催され、約11万人が来場しました。

たいまつ行列とともに輦ひんぎに乗ったニギの命とコノハナサカヤ姫が登場。そして、たいまつによってできた円の中心で二人が産屋に火を放つと、夜空を焦がすかのように勢いよく炎が舞い上がり、会場は明るく照らされました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をデジ版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。

